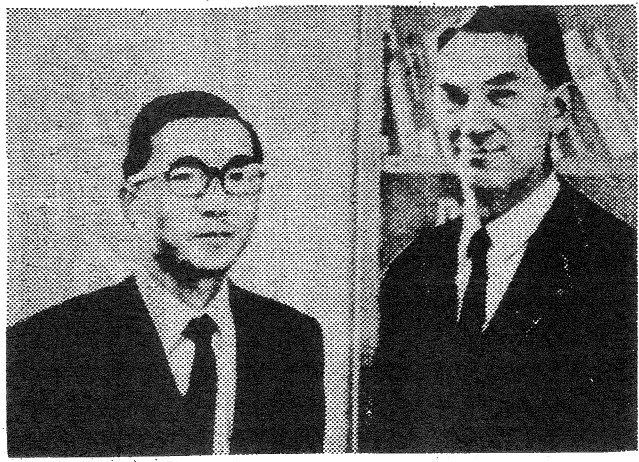


# なぜ英語が話せないの

< 5 >

「日本は世界中で関係級を含まない語彙国である」  
 最も英語の通じない国。開  
 知日派であるライシャワー元  
 駐日米大使は、帰国に際し、こ



英語教育の在り方に警鐘を鳴らすライシャワー元駐日米大使と福田昇八熊本大教授

う率直な意見を述べた。国際化の時代を迎えながら、会談で簡単な会話を通訳なしではできない盲眼たち。ラ大使が「ひと

## 話せる教師二割以下

### ようやく事態改善の動き

ウィルムズさんは毎週、約二大学に留学した教授のたまに十人ずつの中、高校教師を集めて研修会を開いたが「これが英語の先生かと思ふほど、お互いの意志が通じない」。Heifed (of) stomachcancer (彼は胃ガンで死んだ)やDo you believe (in) God (神を信じますか)など、描くと「なんだスクリールドラはイバー(ねじ回し)じゃないか」と、店主は大笑い。それだ。アメリカ人が日常

は教師自身が英語を話せないことにある。全国的にみて英語を話せる英語教師は二割に達せず、逆にいえば八割以上が厳密には英語教師としての資格に欠けて深い。

ただ心残り、英語教育面で何一つ改善できなかったことと嘆いたのもうなすける。

この「語学鎖国」をもたらしただ主因が、英会話能力に欠ける教師に在ること、文部省派遣の「英語指導主事助手」として累下の中、高校の英語教師を指導したボニー・ウィルムズさん(米国)ら多くの外国人が指摘している。

「簡単な問題は得意だが会話が長く続けられない。「表現力のなさ」もそのことながら、簡単な日常会話の決まり文句さえ言えない先生もいる。「サット・イヌ・ア・ペンと大声を出して習った英語は一体、なんだったのか」と、頭を抱える教師もいた。

福田昇八・熊本大学教授は「日本人が英語を話せない背景には、大学入試や時間数の不足などが挙げられるが、真の原因

始まっている。若手英語教師八人で二年前結成した「久留米英語講習会」もその一つ。会は小規模ながら、中央から著名な英語講師を呼んで定期講習会を開くなど、役に立つ英語教育への脱皮がへ向け奮闘している。

次回はその活動ぶりを紹介する。